

第九回ふかや緑の王国梅まつり

俳句吟行会 入選作品

特選

紅梅や母より老いて母恋し

国松 恵子

入選

王国の空をひろげて梅まつり

高荷 すみ子

梅の名を丁寧に読み老夫婦

荻野 善子

白梅の香り来るまで顔よせて

田代 貞二

紅梅や袱紗をさばく指白し

田代 泰子

散らす風咲かす風あり梅の国

宮沢 重夫

王国のきもの姿の梅見かな

藤野 孝行

梅まつりピザの匂ひの列に着く

遠山 周子

しだれ梅石に触れつつほころびぬ

宮沢 重夫

梅東風や媪の杖の重からず

青柳 進

鳥の声のせ王国の梅日和

遠山 周子

梅東風や手櫛で足りるだけの髪

井上 燈女

ダンディーの市長の和服梅祭

瀬山 麗子

紅梅を幼に還る母が指す

関根 由利子

秩父連山間近に見ゆる梅の園

瀬山 麗子

風荒ぶ赤城山を遠く梅の園

大澤 洋子

香あられた雨の朝の梅の園

青柳 進

白梅に色を譲りし夕茜

高野 福江

梅が香や形身の袖に手を通す

三代澤 幸子

開拓の記憶は遠く梅の園

福島 文子

